

製品・サービス動向-国内

■バルコ：ClickShare、ゼンハイザーとの連携による初のMicrosoft Teams 認定ワイヤレス会議システムのバンドル製品を発表

(PRTIMES：1月8日)

バルコ株式会社(<https://www.barco.com/ja>) (東京都品川区) は、ゼンハイザー(<https://www.sennheiser.com/ja-jp>) とのパートナーシップにより開発され、「Microsoft Teams」の公式認定を取得した新たな ClickShare Hub 会議システムのバンドル製品の提供開始を発表した。

本認定は、高度な会議室ソリューションの提供に向けたバルコとマイクロソフトとの共通の取り組みを示すもの。「Microsoft Device Ecosystem Platform(MDEP)」上に構築された初のワイヤレス会議システムの一つとして、今回認定されたバンドルは、小規模会議室向けに最適化された「ClickShare Hub Core + Sennheiser TeamConnect Bar S」ならびに中規模スペース向けに設計された「ClickShare Hub Pro + Sennheiser TeamConnect Bar M」の2種類で構成されている。

MDEP の機能を活用することで、これらのバンドルはエンタープライズレベルのセキュリティとコンプライアンスを確保しているという。次世代の ClickShare ボタンを使用すれば、ハイブリッド会議への参加や、会議室でのプレゼンテーションなど、あらゆる会議シーンにおいてコンテンツ共有を容易に行うことが可能となっている。従業員はもちろん、ゲストも含め誰でも手間なく数秒で会議室のディスプレイにコンテンツを共有できるようになっている。これらのモジュール型会議室システムバンドルは、バルコのワイヤレス

会議・プレゼンテーション技術とゼンハイザーの高度な音声・映像技術を組み合わせたもの。

今回の発表は、BYOD (Bring Your Own Device) ソリューションから、ハイブリッドコラボレーション向けの完全統合型会議システムへと事業領域を拡大するバルコの戦略において、重要な節目を示すもの。これにより ClickShare は、安全で拡張性が高く、ユーザー中心の会議体験を実現する信頼性の高いソリューションとして位置付けられ、将来を見据えたテクノロジーを通じて組織が自信を持ってコラボレーション空間を標準化できる環境を提供している。

■ギブリー：「MANA Studio」にて Web 会議を支援する AI エージェント「MANA Meeting」を新たに提供開始

(PRTIMES：1月5日)

株式会社ギブリー (<https://givery.co.jp/>) (東京都渋谷区) は、1月5日に同社が提供する生成 AI・AI エージェント活用プラットフォーム「MANA Studio (マ ナ スタ ジ オ) 」 (<https://gomana.ai/product/mana-studio/>) にて、リアルタイム文字起こしとカレンダー連携で会議の生産性を高める「MANA Meeting (マ ナ ミ ー テ ィ ン グ) 」の提供を開始した。



MANA Meeting(ギブリー)

MANA Meeting は、Web 会議の進行を支援する AI エージェント。Web 会議（Google Meet、Microsoft Teams、Zoom）をリアルタイムで録画と文字起こしを行い、会議内容の整理から議事録・対応事項の作成までを支援する。会議情報をいつでも参照・共有することができるようになり、会議が「情報共有の場」から「組織としての成果を生み出す場」へと変わるとい



MANA Meeting 画面例（ギブリー）

MANA Meeting の特長としては以下の通り。（１）AI がリアルタイムに論点を整理し、会議の進行を支援。議論テーマや論点の可視化、決定事項/未決事項の整理、次に確認すべきポイントの提示を行う。（２）カレンダー連携で会議準備とフォローを効率化。会議予定（Google カレンダー、Microsoft Outlook）と連携し、会議の前後に発生する作業をスムーズに進められるよう AI が支援する。たとえば、会議の目的・アジェンダ案・確認論点の整理、事前共有すべき情報や関連資料のとりまとめ、会議直後の議事録・対応事項・フォローアップ文面の作成を支援などがある。（３）会議の録画や議事録や組織内で参照・共有が可能。録画データと文字起こしは保存されるため、必要に応じて要約・議事録・対応事項などを後ろから確認できるとともに内容は組織内での共有が可能となっている。

多くの企業において、「会議の生産性」と「会議で生まれた知見の組織内活用」は共通の課題となっている。こうした背景から、同社では、会議そのものの在り方を再設計する機能として MANA Meeting を開発した。MANA Meeting はリリース後も継続的に進化するという。今後は、会議の前後で生まれる情報を業務の実行につなげられるよう、連携範囲の拡充や支援機能

の強化を進めていくとしている。

MANA Studio は、優れた操作性と高度な機能性を両立した生成 AI・AI エージェント活用プラットフォーム。マルチ LLM 機能と搭載し、複数の最新 LLM の中から業務シーンに応じて最適なモデルを選択可能。LLM を切り替えた際もそれまでの会話を引き継ぎ・シームレスに利用できることが特長となっている。エンタープライズ標準のセキュリティ基盤により強固なユーザーデータ保護を実施するという。

ギブリーは、2009 年 4 月設立。事業は、HR テック事業（Track）、マーケティング DX 事業（DECA・マーケ GAI）、オペレーション DX 事業（MANA・法人 GAI）、AI 開発支援事業（Givery AI Lab）、サイバーセキュリティ事業など。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（1月）

「もう音漏れに悩まない！個室ブースの防音体験会!!」
 「【Zoom × V-CUBE】商談を自動採点！Zoom と AI で構築する最強のセールスプロセス」など
 会場：オンライン/オンデマンド/東京
 主催：株式会社ブイキューブ
 詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex TAC Live シリーズ - Webex 「最新イベントに追いつけ！」

日時：1月21日（水）10:00～11:30
 会場：オンライン
 主催：シスコシステムズ合同会社
 詳細・申込：https://www.cisco.com/c/ja_jp/training-events/event-calendar.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

オンライン会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■X（旧：Twitter）（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

>CNA レポート・ジャパン サイト

<https://cnar.jp>

>X(旧ツイッター)

<https://x.com/cnarjapan>

>facebook ページ

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

>メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

お知らせ（重要）

ー配信システムの変更について：

長年配信システムのひとつとして使用してきました、まぐまぐですが、すでにご案内の通り、まぐまぐでの配信を2024年10月末号にて終了いたしました。今後は、CNA レポート・ジャパンのサイト、X（旧ツイッター）、facebook ページ、dte-forum メーリングリストでの配信とさせていただきます。

この定期レポートをまぐまぐで受信されている読者の方は大変お手数ですがいずれかの受信方法へご変更お願い致します。

■今年もよろしくお願ひ致します。

■CNAレポート・ジャパン 2026年1月15日号

ホームページ: <https://cnar.jp>

お問い合わせ: inquiry@cnar.jp